

第4次亀岡市総合計画の進行管理・行政評価

前期

●前期基本計画の進行管理

事業実施年度	調書作成年度	内 容
H23年度	H24年度	「目指す目標」及び具体的施策について、約420事業の調書を作成し、毎年度進行管理を実施。
H24年度	H25年度	
H25年度	H26年度	
H26年度	H27年度	
H27年度	H28年度	

●前期基本計画の行政評価（事務事業評価）

事業実施年度	評価実施年度	事務事業評価		
		市民意見募集	進行管理部会ヒアリング・評価	理事者ヒアリング・評価
H23年度	H24年度	50事業	50事業	50事業
H24年度	H25年度	50事業	10事業	50事業
H25年度	H26年度	50事業	10事業	50事業
H26年度	H27年度	30事業	8事業	30事業
H27年度	最終年度のため実施しない。			

●前期基本計画の行政評価の流れ

- ① 事業の選定（重点20事業、無作為20事業、各部選定10事業、計50事業）
- ② 調書作成
- ③ 市民意見の募集
- ④ 総合計画審議会進行管理部会のヒアリング・評価
- ⑤ 理事者のヒアリング・評価
- ⑥ 翌年度事業予算への反映
- ⑦ 市民への公表

●前期基本計画の進行管理・行政評価の課題

- 事務負担が大きい。特に50事業の理事者ヒアリングについては、負担が大きい。
- 行政評価については、事務事業評価であったため、施策全体の取組が分かりにくい。また評価しにくい。
- 行政評価実施の成果が余りない。例えば、重点化やスクラップ・アンド・ビルドに結びつかない。予算との連携が困難等。
- 調書の精度に問題がある。特に指標の設定については、十分な内容でないものがある。

後期

●後期基本計画の進行管理

事業実施年度	調書作成年度	内 容
H28年度	H29年度	「目指す目標」及び具体的施策について、約390事業の調書を作成し、毎年度進行管理を実施しました。
H29年度	H30年度	
H30年度	R1年度	
R1年度	R2年度	
R2年度	R3年度	

●後期基本計画の行政評価（事務事業評価）

事業実施年度	評価実施年度	事務事業評価		
		市民意見募集	進行管理部会ヒアリング・評価	理事者ヒアリング・評価
H28年度	H29年度	18事業	18事業	18事業
H29年度	H30年度	20事業	20事業	20事業
H30年度	R1年度	14事業	14事業	14事業
R1年度	R2年度	24事業	24事業	24事業
R2年度	最終年度のため実施しない。			

●後期基本計画の行政評価の流れ

- ① テーマ（施策）に係る主な事業の選定（毎年2つの章から1節ごとを、前期基本計画中に選定されたもの以外から抽出）
- ② 調書作成（個々の事業調書だけでなく施策全体でも評価）
- ③ 市民意見の募集
- ④ 総合計画審議会進行管理部会のヒアリング・評価
- ⑤ 理事者のヒアリング・評価
- ⑥ 翌年度事業予算への反映
- ⑦ 市民への公表

●後期基本計画の進行管理・行政評価の課題

- 事業ごとに設定している活動指標、成果指標の考え方が、全職員にまで浸透していない。
- 成果指標については、1つの成果を複数の事業で目指す場合が多いため、事業ごとに別の指標を設定するのは無理があった。
- 業務量が年々増加する中、総合計画の進行管理と類似する調書も存在し、負担となっている。
- 進行管理調書の量が多く、一度に全ての事業を評価できない。
- 時間の経過とともに事業の内容は変化するが、調書は5年間同じであったため、現状にそぐわないものもあった。